

令和7年11月28日

議員定数・報酬等検討特別委員会

委員長 後 藤 國 弘 様

議員定数分科会

座長 豊 島 保 夫

議員定数分科会検討結果について

このことについて、下記のとおり、検討結果を報告する。

記

1 議員定数について

議員定数については、定数削減に関する意見が分かれたが、最終的に削減案が決定された。

削減人数については、以下の流れで採決が行われた。

2 会議での意見のまとめ

(1) 定数削減の方向性について

最初に、定数削減の方向性について議論が行われ、以下の採決が行われた。
(採決は座長1名を除く)

- ① 定数削減案：3名の委員（うち2人削減が2名、1人削減が1名）
- ② 現状維持案：2名の委員
- ③ 定数増加案：0名の委員

結果として、定数削減の方向性が決定された。

(2) 削減人数について

次に、削減する人数についての採決が行われ、結果は以下のとおりとなった。
(採決は座長1名を除く)

① 2人削減案：2名の委員

② 1人削減案：3名の委員

そのため、「1人削減」が最も多数の支持を得たため、この方向性で進めることが決定された。

3 意見のまとめ

会議で出された主な意見は以下のとおりである。

(1) 定数削減に賛成する意見

① 市民アンケート結果では、「議員定数が多すぎる」との意見が44%に達している状況であり、削減しなければならないという意見が出された。

(アンケート有効回答 318 件中 141 件)

② 定数削減によって、議会の役割をより強化し、市民に対する責任を果たすべきであるとの意見があった。

③ 議員定数削減に関わらず、しっかりとした議員活動をしなければならないという思いが示された。

(2) 現状維持や増員を求める意見

① 定数削減には懸念があり、議会運営や業務に支障が出る可能性があるという意見が出された。

- ② 議員数を削減することで、多様な意見が反映されにくくなるという懸念もあり、現状維持が望ましいという意見があった。
- ③ 市民意見交換会では、議員数を減らす必要性を感じないとの意見もあり、定数削減について慎重に考える必要があるという声もあった。

(市民意見交換会参加者 31 人)

(3) 削減人数に関する意見

- ① 2 人削減案を支持する委員は、議会の効率化や議員報酬・政務活動費の適正化を主張し、削減人数を増やすべきだという意見を出した。
- ② 1 人削減案を支持する委員は、議員はしっかりと監視していかなければならない立場であり、バランスを考えたときに 1 人削減が適切だという意見があった。
- ③ 報酬や政務活動費の見直しを進める中で、削減人数を限定的にするべきだという意見があった。

4 結論

最終的に、議員定数については「1 人削減」という方向性が決定された。

以上、議員定数分科会での検討結果を報告する。